

DX人材育成の強化について ～DX人材認定制度の新設～

鹿児島銀行（頭取 松山 澄寛）は、お客さまのデジタル化支援、および銀行自らのデジタルトランスフォーメーション（以下、「DX」）実現のため、行内の「DX人材」の育成を強化しますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 背景・目的

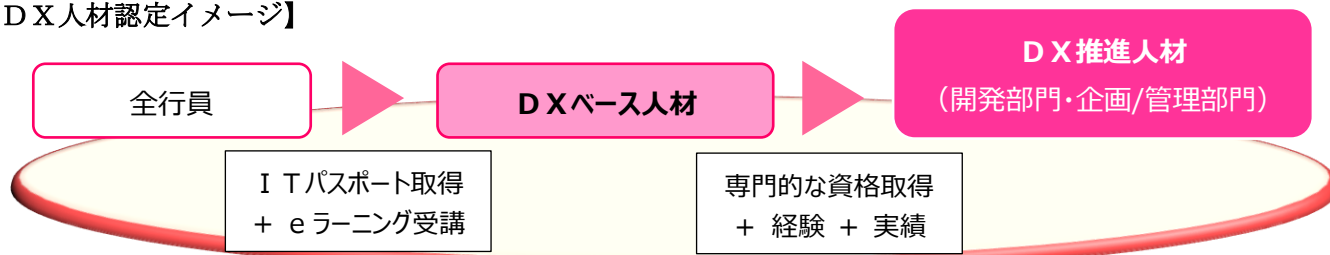
昨今のデジタル技術の急速な進展や、新型コロナウイルス感染症による人々の生活様式や価値観の変化により地域やお客さまのニーズは大きく変化しており、それに対応すべく自治体や企業はデジタルを活用して自らのサービスや業務プロセス、組織風土などを変革する“DX”を迫られています。

これらの変化に対応するため、ビジネスとデジタル双方に精通し、「各課題解決に向けてデジタルを活用して変革できる人材（=DX人材）」認定制度を新設するとともに、それに向けた育成カリキュラム整備・活用を行い、全行員のデジタルリテラシーの向上に取り組むものです。

2. DX人材認定制度の概要（定義および認定基準）

人材名	定義	認定基準
DX推進人材	デジタル戦略や施策を立案・実行できるDX推進の中心的人材	知識（資格取得※）+経験+実績を踏まえて認定 ※AI・データ分析、UI/UXなどの分野
（開発部門）	デジタル技術を理解し、業務に応じたITシステムの開発や基盤の安定稼働を実現できる人材	
（企画/管理部門）	顧客や市場、業務内容に精通しつつ、デジタルで何ができるかを理解し、DXの実行を担う人材	
DXベース人材	DX・デジタルに関する基礎知識を身につけて当行デジタル関連サービスを推進できる人材	ITパスポート取得 + eラーニング受講状況により認定

【DX人材認定イメージ】



DX人材育成カリキュラムの整備・活用

3. DXベース人材の目標人数

まずは、組織として底上げを図るため、「DXベース人材」の育成を強化し、「DXベース人材」について、2024年3月末300名、2027年3月末1,200名を目標とします。

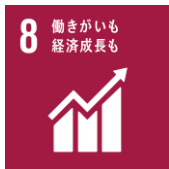
4. DX人材育成カリキュラム内容

- ・「マインドセット・リテラシー向上」と「リスキリング・スキルアップ」の2つの観点から、スキル・レベルに応じた研修やセミナー、eラーニングなどにて育成する環境を整備します。
- ・デジタル関連企業や自治体への出向・人事交流を積極的に行い、人材育成を図るとともに、当該企業・自治体とのさらなる連携を強化します。

5. 運用開始日

2023年4月3日（月）

6. 対応するSDGs



- 目標 8. 人材の活躍促進による新たな価値創造
従業員の能力強化による働きがい向上
- 目標 9. デジタル活用による新たな顧客価値創造

【参考】 鹿児島銀行DXへの取り組み(デジタル戦略) <https://www.kagin.co.jp/investor/DX.html>

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

鹿児島銀行 経営企画部 デジタル戦略室

TEL : 099-239-9725 (ダイヤルイン)